

# 宮崎県感染症週報

## ■ 宮崎県第48週の発生動向

定点医療機関からの報告総数は1,118人(定点あたり34.0)で、前週比130%と増加した。

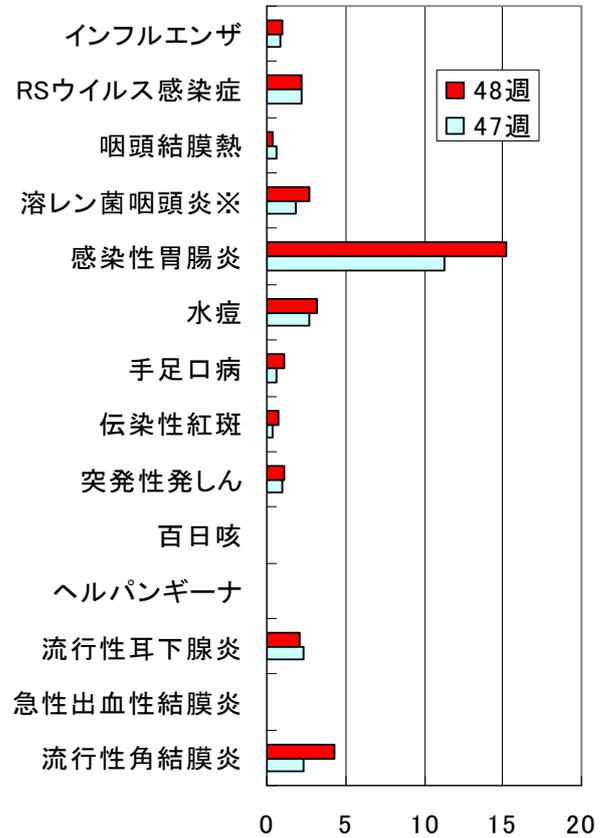
前週に比べ多かった主な疾患は、伝染性紅斑、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎と感染性胃腸炎で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱と流行性耳下腺炎であった。

伝染性紅斑の報告数は25人(0.69)で前週比167%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(0.12)と比較すると約5.8倍であった。高千穂(4.0)、中央(2.0)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では5歳から8歳で全体の約6割を占めた。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は96人(2.7)で前週比145%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.0)と比較すると約1.3倍であった。延岡(8.5)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では4歳から6歳で全体の約半数を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は546人(15.2)で前週比134%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(16.8)と比較すると約9割であった。都城(23.7)、高鍋(23.0)保健所からの報告が多く警報レベルを超えている。年齢別では6ヶ月から4歳で全体の約6割を占めた。

《前週との比較》



《定点あたり報告数》  
※A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

## □ 保健所別流行警報開始基準値超過疾患

	流行警報 開始基準値	定点あたり報告数		年齢分布
		宮崎県全体	基準値を超えた保健所	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	2.7	延岡(8.5)	4歳~6歳で全体の約半数を占めた。
感染性胃腸炎	20	15.2	都城(23.7)、高鍋(23.0)	6ヶ月~4歳で全体の約6割を占めた。
伝染性紅斑	2	0.69	高千穂(4.0)、中央(2.0)	5歳~8歳で全体の約6割を占めた。
流行性耳下腺炎	6	2.1	日南(6.7)	2歳~6歳で全体の約8割を占めた。
流行性角結膜炎	8	4.3	宮崎市(8.0)	1~8歳で全体の3割、 30~40歳代で全体の4割を占めた。

## ■ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症： 報告なし。
- 2 類感染症： 結核 7 例が宮崎市（4 例）、日南・高千穂・日向（各 1 例）保健所から報告された。  
 《宮崎市保健所》・60 歳代の女性でその他の結核（肺結核腫）。  
 ・80 歳代の男性で肺結核。咳、痰、発熱、呼吸困難がみられた。  
 ・90 歳代の女性で肺結核。咳、発熱がみられた。  
 ・60 歳代の女性で肺結核及びその他の結核（結核性胸膜炎）。咳、発熱がみられた。  
 《日南保健所》・80 歳代の女性で肺結核。痰がみられた。  
 《高千穂保健所》・70 歳代の男性で肺結核。  
 《日向保健所》・70 歳代の男性で肺結核。
- 3 類感染症： 報告なし。
- 4 類感染症： つつが虫病 2 例が宮崎市保健所から報告された。  
 ・20 歳代の男性で頭痛、発熱、刺し口、発疹がみられた。  
 ・60 歳代の男性で発熱、刺し口、発疹がみられた。
- 5 類感染症： 報告なし。

## ■ 病原体情報（衛生環境研究所 微生物部）

### □ インフルエンザ検出速報（平成 22 年 11 月 29 日～12 月 5 日までに検体採取分）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	同定日
インフルエンザB型	7	女	11.29	インフルエンザ、39.2℃、咳、咽頭痛	鼻腔ぬぐい液	11.24

○都城保健所管内でインフルエンザB型の報告があった。遺伝子検査を実施した結果、インフルエンザB型が検出された。B型が検出されたのは今シーズン初めてである。

### □ ウイルス（平成 22 年 11 月 23 日～12 月 6 日までに分離同定）

同定ウイルス名	年齢	性	採取日	臨床診断名	材料	同定日
インフルエンザ <sup>*</sup> AH1pdm型	8	男	9.8	インフルエンザ、39.7℃、咳、痰、頭痛	咽頭ぬぐい液	9.9
インフルエンザ <sup>*</sup> AH1pdm型	2	女	9.8	インフルエンザ、39.5℃、咳、鼻水	鼻腔ぬぐい液	9.9
インフルエンザAH3型	1	女	10.20	インフルエンザ、40℃、咳、痰、鼻水	鼻腔ぬぐい液	10.26
インフルエンザAH3型	5	女	10.25	インフルエンザ、39.2℃、腹痛	鼻腔ぬぐい液	10.26
インフルエンザAH3型	7	男	10.25	インフルエンザ、40℃、咳	鼻腔ぬぐい液	10.26

○9月から12月にかけて分離された2株のインフルエンザAH1pdm（新型）と3株のインフルエンザAH3（A香港型）について、ワクチン株との抗原性の比較を行った。HI試験で調べた結果、新型の分離株はワクチン株と大きな差は見られなかったが、A香港型のうち1株は8倍の差が見られた。

### □ 細菌（平成 22 年 11 月 23 日～12 月 6 日までに分離同定） 報告なし。

## ■ 全国第 47 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 21.5 で、前週比 114%と増加した。今週増加した主な疾患は水痘、インフルエンザと R S ウイルス感染症で、減少した主な疾患はヘルパンギーナであった。

水痘の報告数は 5,404 人 (1.8) で、前週比 127%と増加した。例年同時期の約 1.3 倍である。新潟県 (3.2)、大分県 (3.1)、青森県 (3.0) からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳で全体の約 8 割を占めた。

インフルエンザの報告数は 2,113 人 (0.44) で、前週比 126%と増加した。北海道 (2.4)、大分県 (1.3)、沖縄県 (0.88) からの報告が多く、年齢別では 5 歳以下が全体の 28%、6 歳から 9 歳が 28%、10 歳から 14 歳が 16%、15 歳から 19 歳が 4%、20 歳代から 50 歳代が 20%、60 歳以上が 4%を占めた。

R S ウイルス感染症の報告数は 2,179 人 (0.72) で、前週比 126%と増加した。例年同時期の約 1.4 倍である。宮崎県 (2.2)、佐賀県 (2.1)、福井県 (1.9) からの報告が多く、年齢別では 2 歳以下で全体の約 9 割を占めた。

### □ 全数把握対象疾患

- 1 類感染症 : 報告なし。
- 2 類感染症 : 結核 267 例
- 3 類感染症 : 細菌性赤痢 1 例、腸管出血性大腸菌感染症 29 例、腸チフス 1 例
- 4 類感染症 : A 型肝炎 2 例、つつが虫病 17 例、デング熱 5 例、日本紅斑熱 2 例、日本脳炎 1 例、マラリア 2 例、レジオネラ症 8 例
- 5 類感染症 : アメーバ赤痢 9 例、ウイルス性肝炎 3 例、急性脳炎 3 例、クロイツフェルト・ヤコブ病 1 例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2 例、後天性免疫不全症候群 9 例、ジアルジア症 1 例、梅毒 2 例、破傷風 1 例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2 例、麻しん 5 例

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2010年 第48週(11月29日～12月05日)

疾病名		第47週	第48週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	49	60		6	5			11		38	
	定点あたり	0.83	1.02	0.00	0.60	0.71	0.00	0.00	1.83	0.00	6.33	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	78	79	12	14	30	3		11		9	
	定点あたり	2.17	2.19	1.20	2.33	7.50	1.00	0.00	2.75	0.00	2.25	0.00
咽頭結膜熱	報告数	22	15	2	5	1	3	3			1	
	定点あたり	0.61	0.42	0.20	0.83	0.25	1.00	1.00	0.00	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	66	96	24	1	34	8		12	1	13	3
	定点あたり	1.83	2.67	2.40	0.17	8.50	2.67	0.00	3.00	1.00	3.25	3.00
感染性胃腸炎	報告数	406	546	106	142	26	54	56	92	10	44	16
	定点あたり	11.28	15.17	10.60	23.67	6.50	18.00	18.67	23.00	10.00	11.00	16.00
水痘	報告数	97	113	58	24	8	5	6	7		5	
	定点あたり	2.69	3.14	5.80	4.00	2.00	1.67	2.00	1.75	0.00	1.25	0.00
手足口病	報告数	21	39	14	22						2	1
	定点あたり	0.58	1.08	1.40	3.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00
伝染性紅斑	報告数	15	25	4	6		2	3	3	4	1	2
	定点あたり	0.42	0.69	0.40	1.00	0.00	0.67	1.00	0.75	4.00	0.25	2.00
突発性発しん	報告数	35	41	17	8	1	4	4	3		4	
	定点あたり	0.97	1.14	1.70	1.33	0.25	1.33	1.33	0.75	0.00	1.00	0.00
百日咳	報告数	1	1			1						
	定点あたり	0.03	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	2	2			2						
	定点あたり	0.06	0.06	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	85	75	13	11	15	20	1		1	10	4
	定点あたり	2.36	2.08	1.30	1.83	3.75	6.67	0.33	0.00	1.00	2.50	4.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	14	26	24	1	1						
	定点あたり	2.33	4.33	8.00	0.50	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数  
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2010年第1週～第48週)

2類感染症	結核	206例(7)				
3類感染症	細菌性赤痢	1例	腸管出血性大腸菌感染症	51例		
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病	7例(2)
	デング熱	1例	日本紅斑熱	6例	マラリア	2例
	レジオネラ症	2例	レプトスピラ症	3例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5例	ウイルス性肝炎	8例	急性脳炎	7例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	3例	梅毒	5例
	破傷風	5例	麻しん	1例		

( )内は今週届出分、再掲